

5がっのくもの子の会だより

新緑がとてきれいな季節ですわ～
うちの庭の木々も、それぞれ、あおあおとした葉っぱを出し、
春を感じさせてくれます。

今年は、庭の木の花がみごとくきれいに咲いていたのですが、
今、たっさんの小さな美をつけてくれます。

平成16年に、りっぱな美をつけてくれたのですが、その後、台風で
おれたしなから、毎年、二じまりと花をさかせていました。それ以来、
美を大きくみらせることはなかったのですが、今年は、たっさんの美がついて
いるので、ちょっと期待しているところですよ。

庭には、かきの木、甲斐うめ、グミの木、ナツメの木、ザクロ、ビワ...と
たっさんありますので、それぞれの時期の美のり、今年もまた楽しみです。

小さな森の子ども園の子ども達は、よもぎの新芽をつんで、よもぎ汁の
作りをして食べました。以前は、くもの子の会の参加者の方々と、やっていた
活動でもあります。この春、せむらひの新芽を使ってのよもぎ汁は、
また格別においしいものですよ～。

4月号のつぎで
～子育てで家庭が担う3つの役割～ (のびのび子育て 2月号より)

② 愛情や信頼関係を育てる
家庭は、子どもをまごとして無条件に愛し、何かあったときは



＜H.26.4.25＞
育る場所です。愛され、守られているという実感
を持つ子どもは、幼少期の家族に対して、
同じような愛情や信頼感を寄せるように育ちます。

③ 価値やルールを伝える
家庭内であっても、気持ちよく暮らしているため
には、守らなければいけないルールや秩序が
あります。相互に配慮し、思いやり、時に自己
コントロールすることの大切さを、その子の成長に
ふさわしい形で伝えていきます。



小さい時にはお母さんに甘えるのが子どもの
仕事です。
お母さんと一緒にいて、安心を経験する中で
はじめて「私」が育つからです。
「私」が育つ前に、文字とか英語とかの知識
が植えつけられた子どもは、一見、賢そうに
見えたとしても、「心」が空洞のまみれになりやすい
のです。子どもの育ちには順番があります。
昔の人が教えてくれた通りに、
身体が育ち、心が育ち、頭が育つという順番
を大切にしていってあげてください。
子どもを育ていくには、ふさわしいかと思えます。
(絆を深め合う道程より)

